

平成23年度

— 第16回（定例・臨時） —

教育委員会会議録

開 会	平成24年 1月26日	午前 午後	2時30分			
閉 会	平成24年 1月26日	午前 午後	3時07分			
会議場所	教育委員室					
委員出欠	平田 静太郎	出	藤岡 庄司	出	松村 佳子	出
	花山院 弘匡	出	佐藤 進	出	富岡 将人	出
議事録署名	教 育 委 員 長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次第</p> <p>報告事項1 「体力向上指導マニュアル」について</p>	承認
報告事項1 「体力向上指導マニュアル」について	
○委員長 「報告事項1について報告願います。」	
○教育長 「各小学校で行われる体力テストにおいて、適切に体力を測定するため『体力向上指導マニュアル』を作成しました。指導マニュアル作成の経緯については教育研究所副所長より、また、この指導マニュアルの活用につきましては保健体育課長より報告いたします。」	
○教育研究所副所長 ……資料に基づき報告……	
○保健体育課長 ……資料に基づき報告……	
○委員長 「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」	
○平田委員 「体力テストを行う時期はいつ頃か。」	
○保健体育課長 「4月中下旬から6月にかけて実施される。報告が6月末までとなっているのでそれまでに実施することになる。」	
○平田委員 「実施対象学年はどの様になっているのか。」	
○保健体育課長 「奈良県では小学校1～6年生、中学校1～3年生、高等学校1～3年生で実施している。文部科学省の調査対象は小学校5年生と中学校2年生となっている。」	
○藤岡委員 「集団で体力テストをやった方がいいという話があった。これまではクラス単位で実施していたと思う。全校で記録会として実施するというのはどうか。」	
○保健体育課長 「全校でどの様に実施しているかまでは把握していない。集団で実施すれば効果的であるが、実施方法が学年単位、学校単位等まちまちである。学校行事、学年行事とすれば効果があるのか。調査研究の結果を見たらうで効果があるのであれば広めていくことを考えている。」	

議案及び議事内容	結果
○佐藤委員 「体力をつけるには、運動を継続することが大事。」	
○教育研究所副所長「研究所ではアドバイザーチームが、各学校へ赴いた際、体力向上の課題について、どういう取組をしているかを尋ねている。どの学校も意識はしていて、教員もいろいろ知恵を出しあっている。授業間、始業前、終わりの会で、なわとびを行っている学校もある。体力テストについては、子どものベストパフォーマンスを引き出してあげようとしている学校もある。ムードづくりも大事で、体力テストの実施にあたり教員がどういう気持ちで取り組むかによっても、子どもたちの取組が変わると聞いている。体力向上指導の実施方法を示すことで、小学校教員に気付いてもらいたい。」	
○平田委員 「体力テストは、2、3年前は任意ではなかったか。」	
○教育長 「全国調査は、平成20年度は任意であったと思う。平成21年度からすべての学校で実施するようになり、平成22年度は抽出校での実施であり、平成23年度は実施されていない。」	
○平田委員 「マニュアル配布により小学校の教員に体力テストについて認識してもらうことは体力向上に効果があると思う。」	
○佐藤委員 「走らせたり、歩かせたりすることで、基礎体力をつけさせることができると思う。目標を持たせることで継続できると思う。」	
○藤岡委員 「体力テストの結果と運動場の芝生化との相関関係について調査結果が出れば発表してもらいたい。」	
○教育研究所副所長「現在調査中であり、結果が出れば報告を検討している。」	
○委員長 「他にご意見がないようですので、この件について原案どおり承認してよろしいか。」	
※各委員一致で承認	

議 案 及 び 議 事 内 容	結 果
<p>その他報告事項</p> <p>① 「親子陸上教室」～小学生と保護者が一緒に楽しめるトレーニング講習会 ～の開催について （保健体育課長）</p> <p>② 特別企画展「やまとの地宝」の県立美術館での開催について （文化財保存課長）</p>	